

総合資格アーキテクトスタジオ代表取締役

佐藤 拓也氏
さとう たくや

新たな形で建設業界に貢献する狙いから、総合資格（東京都新宿区、岸和子代表取締役）が、1級建築士事務所「総合資格アーキテクトスタジオ」（新宿区）を立ち上げた。総合資格が保有する資産の有効活用や建物の大規模修繕、テナントとして入っている教室のリニューアルなどを手掛けていく。実務を通じて得たノウハウやスキルを生かし、教育の質をさらに高める。

—1面参照



—開設の狙いは。

「総合資格学院（岸和子学院長）の教育をより実践的な形に充実させるのが大きな目的だ。建築設計の実務では物件ごとにプロジェクトチームを組み、構造や設備など分野



「ついでに」

「総合資格ではこれまで1級建築士資格を保有する技術者を中途採用し、講習システムの開発に取り組んできた。建築士法の改正で、実務経験

がなくても建築士試験に合格できるようになったが、資格を取得するには実務経験が必須だ。数年前から指定学科の

資格を保有している。プロジェクトベースで業務を手掛けてもらう。自社物件を対象に総合資格から業務を受注して、最初の一步を進めている

「東京都内の住宅が老朽化しており、土地の有効活用に向けて調査・企画業務に取り組んでいる。教室に利用しているビルでは、大規模修繕の

ための調査・診断を進めている。賃貸物件の教室のリニューアルも計画 중이다。教育環境を向上しながら、建築士事務所としてのスキルを高める」

「東京都建築士事務所協会（東事協、千鳥義典会長）に

「今後の展望を。」

この人に聞く 教育の質向上を軸に業界貢献

ごとに設計を進めて全体を仕上げていく。1級建築士事務所として実務に携わり、知識やノウハウを得てカリキュラムの充実や教材開発に生かしたい。常に建築実務の最前線にわれわれが関わることで、より実践に役立つ教育を提供

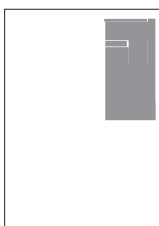
した。このうち6人が建築士

「東事協、千鳥義典会長）に

正会員として入会した。最先端の技術力を持った方々がいて、行政への協力や建築相談会なども手掛けている。これまでは賛助会員だったが、正会員になることで違う形で業界や社会に貢献していきたい」

「プロとしてやるからには、教育事業とは異なる責任とリスクがある。安全・安心を肝に銘じて業務に当たる。活躍の場が増えることを社員は前向きに捉えてくれている。総合資格学院では1000人規模の講師とのつながりがある。こつとしたネットワークも生かしていきたい」。

1986年東海大学工学部建築学科卒。ゼネコン勤務などを経て、99年総合資格入社。2014年講習システム開発2部部長、20年執行役員講習システム開発1・2部担当、23年執行役員教務本部担当。三重県出身、60歳。



総合資格

業
務
本
格
化

1級建築士事務所を開設 より実践的な教育提供

総合資格（東京都新宿区、岸和子代表取締役）が、1級建築士事務所を開設し、業務を本格的に開始した。設立したのは「総合資格アーキテクトスタジオ」（新宿区、佐藤拓也代表取締役）。

総合資格の自社物件を対象に設計監理業務を手掛けていく。実際の業務を通じて実践的なノウハウを蓄積すること、総合資格学院（岸和子学院長）による建築系資格試験講座などで教育内容のさらなる質向上につなげる。 || 3面に関連記事

総合資格の社員が在籍出向してプロジェクトを担う。建築士試験に合格した社員が実務経験を積む場としても位置付けている。昨年10月に会社を設立し、同年11月に1級建築士事務所として登録した。東京都建築士事務所協会（東事協、千鳥義典会長）にも入会しており、教育と実務の両面から建設業界や社会に貢献していく。

